



中学生組体操
全員でピラミッド完成!!



the most beautiful
villages
in japan

多良間村は、
39 番目の

「日本で最も美しい村」

連合に加盟
しています。

●「村政に対するアイデア」について●

広報たらま8月号で「村政に対するアイデア(提案)募集」しましたところ早速応募がありました。(匿名希望)

提案内容

「多良間村 ふるさとづくり寄付金(ふるさと納税)の取組強化」(要約)

●基本構想

- ・贈答予算は1件あたり寄付金額¥10,000×0.7=¥7,000を基本単位とする。¥3,000は税金として取り扱う。(一人当たりの寄付件数は上限なし)贈答品メニューは島産品活用。
- ・当面の税金目標額は¥3,000,000(¥2,500,000=担当職員給与、¥500,000=純税金)とする。

●主なメリットとして、

- ①確実な消費を確保でき、地域産業の掘り起こし、発展につなげる。
- ②専任の担当者を配置することで雇用創出につながる。…など。

●主なデメリットとして、

- ①冷蔵保存などが必要な贈答品もあるため設備導入が必要になる可能性。
- ②贈答品の包装作業が必要。…など。

応募に対する村としての考え方

すばらしい提案をありがとうございました。本村が取り組むべき課題だと思います。本村としてできることは何か、他の地域の事例も参考にしながら実施する方向で進めてまいります。今後ともご指導をお願いします。(村役場総務財政課)

多良間村議会臨時会 工事請負の締結を可決

多良間村議会(森山実夫議長)は平成27年第6回多良間村議会臨時会で村当局が提案した多良間村製糖施設(含みつ糖製造)機械器具設置工事請負契約の締結を求め、原案通り可決した。

- | | |
|-----------|--------------------------|
| 1. 契約の目的 | 多良間村製糖施設(含みつ糖製造)機械器具設置工事 |
| 2. 契約方法 | 一般競争入札 |
| 3. 契約金額 | ¥4,685,040,000(消費税込) |
| 4. 契約の相手方 | 月島気化器株式会社沖縄営業所 |



ライ行事が終わると、島にはアケイズ(赤トンボ)が舞うようになる。

立秋の日、年中行事の「アキバライ」が行われ、集落内の入口(ボーグ入口)となる道路25カ所に豚の骨と皮を縄に吊し魔除けを行った。この行事は、仲筋、塩川両字の役員や実行員らが中心となり執り行われた。台風13号の影響で雨の中の行事であったが、皆、恵みの雨だと喜んだ。この日、八月御願(八月おどり)も恒例により執り行うことを確認した。またアキバ

秋祓い 「無病息災を願う」



民謡グループ群星は歌三味線でPR

去る8月31日、エフエムみやは多良間村でのラジオ放送開始を記念し、コミュニティ施設内から特別番組として生放送を行った。番組は午前七時から始まり午前中は多良間からの中継であった。

番組には、伊良皆光夫村長が開局祝いのメッセージと村の紹介などを伝え、池城三千雄教育長は、八月おどりの紹介など、古謝

エフエムみやこ 多良間開局記念で生放送 ～南洋に浮かぶ癒しの島in多良間島～

政一観光振興課長はピンダース大会・一周マラソン大会などのPRをした。また、小中学生の児童生徒や民謡グループ「群星」のライブ演奏も放送された。

コミュニティ施設には防災無線が設置されており、災害時の情報収集は必須とされ、村内の各世帯に防災無線端末ラジオが聴けるようになった。



伊良皆村長は多良間村を紹介

困ったら一人で悩まず行政相談 行政相談週間始まる

「行政相談制度」は、役所の仕事に関する苦情や要望等をお受けして、その解決を促進するとともに、皆さんの声を行政に役立てるものです。

総務省では、このことを広く国民の皆様にご利用いただくため、毎年10月に行政相談週間を実施しています。

このような場合にご相談を

国の役所の仕事や独立行政法人・特殊法人の仕事のほか、県や市町村が国から委託されたり、国の補助を受けて行っている仕事について、次のようなことはありませんか。

- 説明に納得できない ●どこに相談したらいいのかわからない
- このようにしてほしい ●処理が遅い ●直接は苦情を申し出にくい

相談は次のような方法で受け付けています。

多良間村の行政相談委員は、「羽地邦雄」さんです。(☎79-2023) 総務大臣から行政相談委員に委嘱され、皆さんの相談に応じています。

●行政相談所開設 日時：平成27年10月21日(水) 場所：コミュニティ施設 2階

また、沖縄行政評価事務所でも、次のとおり電話等で相談を常時受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

●行政苦情110番：0570-090-110・098-867-1100 ●相談受付FAX：090-866-0158

カンキツグリーニング病のまん延を防ぐために



「持ち込み診断」へのご協力お願い！

沖縄県ではカンキツグリーニング病への感染の有無を無料で診断する「持ち込み診断」を実施しています。

【カンキツグリーニング病とは？】

世界的に重要なかんきつの病害で感染すると数年後に枯れてしまいます。

【病気の広まり方】

ミカンキジラミという虫による媒介や、感染樹からの取り木・接ぎ木により広まります。

【治療方法】

ありません。病気の木は感染源となるので速やかに伐採処分する必要があります。

【病気の症状】

黄色っぽい葉やまだらに黄色い葉、一部の枝が枯れるなどの症状があります。

【持ち込みの方法】

4方向から症状のある葉を含む枝を1本ずつ採取し、袋に入れて下さい。

持ち込み診断の依頼やお問い合わせは下記にお願いします。

- 病害虫防除技術センター ☎73-2634 ●JAおきなわ宮古地区営農センター ☎72-4588
- 農林水産振興センター ☎72-2552 ●多良間村役場産業経済課 ☎79-2503

お知らせ

宮古特別支援学校幼稚部 志願前相談受付中

＊平成28年3月31日の時点で3～5歳のお子さんが対象です。

志願前相談：6月～10月 願書受付：11月19日（木）・20日（金）

【問合わせ先】 沖縄県立宮古特別支援学校

TEL：72-5117 FAX：72-5320 担当：城間江里子・玉城葉月

沖縄県離島住民割引運賃カードの更新について

あなたの離島割引カードは期限切れではありませんか？

更新手続きは多良間村役場・総務財政課（役場2階）にて受け付けています。

必要書類等を必ず持参し、申請を行って下さい。一つでも欠けると更新できません！

必要なもの

- ①証明写真（タテ3cm×横2.5cm）3ヶ月以内に撮影した写真
- ②印鑑
- ③現住所記載の身分証明書（保険証・免許証・住民票など）



多良間駐在所速報

農機具の盗難多発!!

村内において、農機具を保管している倉庫や畑から、刈り払い機などの農機具が盗難されたとの報告を多数受けています。

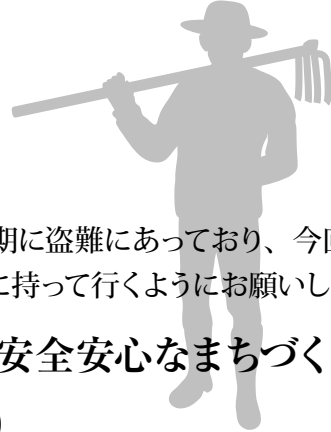
キビ植え等で農機具の必要な時期にこのような事件が過去にも発生していることから、農家の方々は

- 農機具は鍵の掛かるところに保管
 - 畑に置きっぱなしに注意
 - 化成肥料の保管にも注意
- をお願いします。

尚、過去にも畑においてあった化成肥料の袋が数多くこの時期に盗難にあっており、今回も盗難被害が発生するおそれがあるため、畑に保管せずに、使う度に持って行くようにお願いします。

地域の安全はみんなで守ろう 力を合わせて安全安心なまちづくり

多良間駐在所 ☎79-2010



●広報たらま寄付金のお礼●

伊良皆秀安様 (沖縄県西原町在)
照屋 次男様 (沖縄県豊見城市在)
伊良皆 充様 (宮古島市在)
建川 絹江様 (沖縄県 在)

●ふるさと納税寄付金のお礼●

知念克敏様 (石垣市在)
村長おまかせコース希望で、2万円のご寄付がありました。
渡邊邦彦様 (千葉県市川市在)
教育関係コース希望で、1万円のご寄付がありました。

有難うございました。

10/20
(火)

重要無形文化財保持者等公演



- 会 場／多良間村コミュニティ施設
- 開 演／18:30(開場/18:00)
- 入場料／無料

伝統の粋の終結！in多良間

重要無形文化財保持者等を中心とした格調高い伝統芸能公演です。沖縄が誇る「古典音楽」「琉球舞踊」「沖縄芝居」をお楽しみいただきます。



お問合せ:0980-79-2674(担当/多良間村教育委員会 桃原)
098-943-4801(担当/(一社)沖縄俳優協会 津波)
主催:(公財)沖縄県文化振興会

香典返しがありました

字塩川の下地孝子様より、故下地利夫氏の香典返しが多良間村役場にありました。有難うございました。



結核を知ろう！ 結核～知って予防。早めの受診。

結核は、過去の病気ではありません。

明治時代から昭和20年代までの長い間、「国民病」「亡国病」と恐れられていた結核。50年前までは結核で亡くなる人が年間10数万人に及び、死因原因の第1位でした。

日本では平成26年の1年間で、19,615人（1日約54人）の新しい結核患者が発生し、2,099人（1日約6人）が命を落としており、決して過去の病気ではありません。



複十字シール運動キャラクター
結核と闘う「シールぼうや」

●特に高齢者は注意が必要です

宮古保健所管内では新規結核患者の5人に3人は80歳以上の高齢者です。高齢者は若い頃に感染し、眠っていた結核菌が体力や免疫力が落ちるにしたがって目を覚まし、発症することがあります。歳をとると結核の症状を自覚しにくく、手遅れになることがあるため特に注意が必要です。

こんな時は病院へ！

結核の初期症状は風邪とよく似ていますが、風邪のようで風邪じゃない、人から人へとうつる感染症です。

「せき、たん、発熱、だるさ、体重減少、胸の痛み」などの症状が2週間以上続いたら、早めに医療機関を受診しましょう。

●結核はお薬で治せる病気です

かつては「不治の病」と言われた結核ですが、1940年代に結核に効く薬が開発され、今では薬を継続して飲むことで治せる病気になりました。

結核を予防するには…

◆健康的な生活（十分な睡眠、バランスのよい食事等）をこころがけ、免疫力を高めましょう。

◆症状がなくても、年に1回は職場や地域で行われている健康診断（胸のレントゲン検査）を受けましょう。

◆抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症になりやすく、生命が危ういことすらあります。

予防するにはBCG接種を受けましょう。

●喫煙は結核の大きな危険要因です

◆喫煙者の結核の感染、発病のリスク、結核による死亡率を高めるだけでなく、受動喫煙も発病のリスクを高めます。ご自身や周りのためにも禁煙しましょう。



せきが
2週間
続く



たんが
出る



急に
体重が
減る



からだ
が
だるい



睡眠を十分にとる



適度に運動する



好き嫌いをせず
バランスのとれた
食事をする



タバコを吸わない

◆問い合わせ◆ 宮古保健所 健康推進班 ☎73-5074
ホームページ：「宮古保健所 結核」→「結核について/沖縄県」

がんについての 不安や悩み相談のご案内

看護師資格を持つ、がん経験者の相談員が「がん」に関する様々な悩みや不安に寄り添えます。

「家族として何ができるだろう」とお悩みの方、どなたでもご相談いただけます。

ご親族やご友人の方でもご相談に応じます。まずはお電話ください。お話ししましょう。

※相談無料、秘密厳守

【相談時間】 火：午後1時～午後5時

水：午前10時～午後2時

金：午後1時～午後5時

【相談方法】 電話及び来所

【場 所】 琉球大学医学部附属病院 3階

【問合せ先】 沖縄県地域統括相談支援センター

電話：098-942-3407

HP：<http://www.gansoudan-okinawa.jp>



臓器提供の意思表示をしていますか

臓器移植は病気や事故で臓器の機能が低下した方への根治療法として行われるものです。

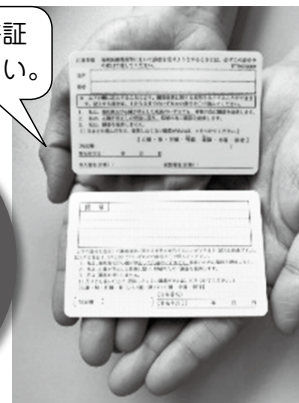
全国で現在約14,000人の方が臓器移植を希望し登録をしています。沖縄県内では、献腎移植だけでも約250人の方が登録中です。

1人の献腎提供により2人の腎不全患者が人工透析から解放されますが、昨年1年間で県内で献腎移植を受けたのは2人と、提供者が少なく、移植を受ける機会が少ない状況が続いています。

臓器提供にはご本人とご家族の意思が大切です。ご本人の意思がわからない場合、臓器を提供するかどうかは、ご家族で決めることになります。「臓器を提供する」「提供しない」という自分の意思を書いてご家族に伝えましょう。

健康保険証や運転免許証の裏面をご確認ください。

あなたの
意思で
救える命が
あります。



以下いずれかで意思表示できます。

- ①健康保険証裏面
- ②運転免許証裏面
- ③臓器提供意思表示カード
- ④インターネットで登録

<http://www2.jotnw.or.jp>

お問い合わせ：沖縄県臓器バンク ☎098-879-6311

村史より シリーズ①

多良間島と水納島には七十カ所余の御嶽等の拝所がある。字仲筋に三五カ所余、字塩川に三十カ所余、字水納に七カ所余の拝所を数える。この中には年一回だけ線香が手向けられる拝所も含まれている。

多良間島で拝所が集中しているのは字仲筋で、これも運城御嶽からウイネツツ、土原ウガム当たりが続く丘陵一帯に多く見られる。このことは、運城御嶽を島の拝所の最高位に位置づけ、字仲筋が元島(ムウトズマ)と呼ばれて、島での神事行事の指導的役割を果たしていることからして、島の先住民達がこの丘陵一帯を中心に生活を営んできたのではないかと考えられる。自然のなりゆきとして天神地祇を崇敬するようになり、拝所を設けたのではないかと思われる。

一般にウガンと呼ばれる拝所は集落内に、海上航行等の安全を祈願するコールは海岸に拝所が設けられている。御嶽は老木の赤木や福木・テイハボク等を含んだ雑木

が繁茂した森の中に神殿が建立されている。

また、フタツジウガンは小さな森の中に小石を積んだ小さな参道があり、ウピイヌヤーには石積み

の囲いの中に祭壇が設けられている。島の西海岸には金志川コールとオーガマヌコールと呼ばれているものがある。仲宗根豊見親に従って与那国征討に参加しての帰途に多良間島に立寄ったとのことである。石垣島が遠く眺められる砂丘の上にオーガマヌコール、少し離れた海岸には金志川コールが、それぞれ海風に吹きさらされて素朴なコールがおかれている。

集落内の福木の森に、波之上護国寺の住職でもあった心海上人が、首里王府により流罪とされて居住していたという寺山がある。この大きい岩の上に経塚が建立され拝所となっている。また、水納島には「鷹の塚」と呼ばれる旧跡があり、鳥塚と言われている。昔、大和人が水納島に漂着して住み着いていたが、自分が飼っていた鷹が故郷との連絡のための硯筆を運ん

できたのにもかかわらず、石泊浜にて死んだので鷹をねんごろに葬ったとのことである。

御嶽等に祭られている神々によつて性格も異なり、性格別は大別すれば次のように分けることができる。

- 一、島立ての神として崇敬されている拝所
- 二、海上航行安全を祈願する拝所
- 三、集落の繁栄と島人の健康を祈願する拝所
- 四、里の神を祭る拝所
- 五、雨乞いを祈願する拝所
- 六、水の神にかかわる拝所
- 七、学問の神を祭る拝所
- 八、鍛冶神を祭る拝所

祭祀組織としては、運城、泊、塩川、嶺間、普天間、水納の各御嶽と多良間神社には司と二才頭がおかれている。各御嶽の祭事等の管理運営は、氏子たちが一年交替で組織する保佐(ブシヤ)が、司や二才頭の指導の下に祭祀行事を行う。運城、泊、塩川の各御嶽は三人姉妹神といわれており、運城が

長女、泊が次女、塩川が三女とされている。

旧九月のプーリには塩川御嶽から運城御嶽に神酒等の供え物を持参して、長老やブシヤが代表して参拝する。参拝する道順は決まっており決して近道や寄り道をしてはいけない。

旧九月のウガンブトキ(お願解き)には、島内の全ての拝所で豊作を感謝する。このとき、縄を持っていき拝所の周囲に張りめぐらす。また、トゥブリ(海岸の出入り口)の神も拝む。

「ウガン」の拝所は里の神として崇拝されており、近隣の人たちで自主的に構成され参拝し祈願する。「コール」と呼ばれる拝所には、イムウブナカといって春から秋にかけて年一回、特定の人たちが海岸の祠に集まり、海の幸や漁撈中の無事を祈願する。また、旧六月から九月にかけてカイノウヨウイ(皆納祝)といって、これも特定のグループが御嶽やウガンの拝所で祈願祭を行っている。

「多良間村史」より

村長のたうけーむぬゆむ。(ひとりごと)

毎年9月15日が敬老の日とされていた。しかし、平成15年からはハッピーマンデーにより、9月の第3月曜日に改められた。「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し長寿を祝う」日である。一方「母の苦勞をいたわり母への感謝を表す」母の日は5月第2日曜日である。同じく父に感謝を表す父の日は6月の第3日曜日となっている。

吉川英治氏の小説「宮本武蔵」のなかに武蔵をかたきとしてつけねらい、裏切り、悪態を繰り返し言われ無き憎悪で「煮ても焼いても食えない」という表現がびつたり「お杉ばば」が登場する。「お杉ばば」はたったひとつだけ良いことをする。仏説「父母恩重経」(「ぶもおんじゅうきょう」)を書き写し、親不孝のやくざどもに配るのだ。その写経を読んだやくざどもが自分の親不孝を恥じ、声を上げ大泣きする場面がある。吉川英治氏は、「宮本武蔵」執筆中にたまたま「父母恩重経」を読み、感動し、小説の中に取り入れたという。

その仏説「父母恩重経」を要約するとこうだ。

一切の善男子(ぜんなんし)・善女人(ぜんによにん)よ、父に慈恩(じおん)あり、母に悲恩(ひおん)あり。そのわけは、父にあらざれば生まれず、母にあらざれば育たず。それは、いのちの氣を父の胤(たね)に受け、母の胎内で育てられたのである。この深い因縁があればこそ、悲母(ひぼ)慈悲深い母(は)がわが子を思うこと、世間では比べられるものではなく、その恩は胎児が生まれる以前にも及ぶものである。

母は受胎して十月(とつき)のあいだ、日常の、歩く、座る、寝るなど生活すべてに苦痛を受ける。その苦痛はつねにやむことがなく、好きな食べ物や衣服を得ても楽しむこともなく、ただ一心に、無事に出産することを祈るのみである。月日がすぎ、出産のときには、陣痛の嵐が吹き、身体の骨節(ほねぶし)がごとごとく痛み、汗と脂がともに流れて、その苦しみは堪えがたいものである。父も、心

身おののきおそれ、母と子の無事を祈る。親族その他の者も、皆とごとく無事を祈るのである。

そして、子は生まれれば、父母(ちちはは)の喜び限りなきことは、貧女(ひんによ)が高価な宝物、如意宝珠(にようぼうじゆ)すべの物事を思うとおりになえてくれるという珠(たま)を得たようなよろこびである。子が声を発すれば、母も自分がこの世に生まれたかのように喜ぶのである。

その後には、母のふところを寝床(ねどこ)とし、母のひざを遊び場とし、母の乳を食べ物とし、母の情け(なさけ)をいのちとする。お腹がすいた時も、母がいなければ食わず、のどが渴いた(かわいた)時も、母がいなければ飲まず。寒き時に衣服を着るも、母がいなければ着ず、暑い時に衣服を脱ぐも、母がいなければ脱げず。母はお腹をすかしていても、自分の食べ物を子に与え、母は寒さきびしい時も、自分の着物を子に着せる。まことに母にあらざれば養われず、母にあらざれば育てられな

いものである。

揺りかごから離れるころは十指の爪に残るわが子の不淨物を食らう。人が母親からもらう乳の量は、なんと180石(1こく1180リットル)にもなる。

父母(ちちはは)の恩、重きこと、天の極まりなきがごとし。

「父母恩重経」以下省略する。

「子を持つて知る親の恩」「父の恩は山より高く、母の恩は海より深く」と言われる。ただ、「親の育て方が悪かった」と責任転嫁し非行に走る者がいることは悲しい。このような人は自分で自分を不幸にしていることに気づくべきである。人として大きく成長する第一歩は、親に対する感謝の気持ちであると云われる。



金丸

8月

世帯数と人口 (平成27年8月末現在)			
総世帯数 524 (-4)			
総人口 1,210 (-13)			
男 645 女 565			
区別	人口	世帯数	
土原	67 (-2)	32 (0)	
天津川	98 (-1)	42 (-1)	
川良	106 (-1)	51 (-1)	
宮間	70 (1)	29 (1)	
嶺大	148 (-1)	65 (-1)	
道	198 (-2)	94 (0)	
吉川	294 (-7)	120 (-2)	
水納	224 (0)	87 (0)	
出生	0	死亡	3
転入	0	転出	10

()内は前月比

おくやみ

字塩川 54番地 大田 トシ 昭和2年1月20日 (88歳) 平成27年8月10日
 字仲筋 414番地 浦崎 正夫 昭和11年8月3日 (79歳) 平成27年8月20日
 字仲筋 77番地 外間 正男 昭和23年6月2日 (67歳) 平成27年5月31日

緊急ダイヤル

火災村消防 (79-2619) 119番
 警察官派出所 (79-2010) 110番
 急病人 (1) 多良間診療所 79-2101
 (2) 時間外 090-6862-6490
 (3) 役場住民福祉課 79-2623
 救急車要請 総務財政課(消防) 79-2619
 歯科診療所医師 79-2162
 停電 沖縄電力多良間営業所 79-2147
 断水 役場住民福祉課 79-2623
 家畜疾病 役場産業経済課 79-2503
 ガス専用JA多良間 090-6859-2355

救急に関すること
(8月)

◆時間外救急受付 13件
 ◆救急車出動 2件
 ◆ヘリ搬送 2件
 救急車要請：
 79-2619
 急病人時間外：
 090-6862-6490



台風15号で大木の松の木が折れる！

編集後記

ヨーカニツ(つばめ)が飛びかよい、アケーズ(赤トンボ)も多くなってきた。朝夕、涼しくなり秋の気配を感じる。

☆去った台風15号は、猛烈な風で(ヤナカデイ)あった。(瞬間最大風速46m)心配していた農作物への塩害は無かったものの、サトウキビに被害があった。夏植えの被害額で24,00万円、株だしで300万円と先の13号の被害を上回った。また、大きな松の木が折れるなど、畜舎等の屋根が吹き飛ばされた。

☆マクガンの笑えない話し。三年前の出来事である。マクガン(ヤシガニ)を捕まえて内地の友へ小包で送ったという。もちろん空輸である。するとMさんへ電話が、もしもし、Mさんマクガンを小包で送りましたか？実は箱から逃亡して見つかりません。さー大変だ！車の中や飛行機の中と探したが、なかなか見つからない。やつのこと車の隅っこに潜んでいるものを見つけた。マクガン発見！空港職員も安堵したマクガン逃走劇であった。

☆久しぶりに帰省した兄弟と水納島へと追い込み漁に出た。大漁してサニツでもしようかと大海を渡ったのである。サー網を張り魚を追い込む準備ができた。するとその網にマクガンが掛かってしまった。アガイ！アガイ！イシユバギイ(不漁)ガヤウ。マクガンを網からはずし逃がした。サー！追い込みだ！大漁である。すると、逃がしたはずのマクガンがまた網に掛かっている。アガイ！これぞイシユ(獲物)だと多良間島へお供した。ゆうに2Kはあったという。

☆多良間村はH22年にヤシガニ(マクガン)条例を制定した。目的としてヤシガニの成長が極めて遅いため、乱獲による絶滅を防止することにより、村の豊かな自然の象徴であるヤシガニを有用な資源として将来に渡り持続的に活用するため保護する。

村は、ヤシガニの保護を図るための適切な施策を制定し、教育活動、広報活動等を通じてヤシガニの保護の必要性について村民等の理解に努める。また、毎年7月1日から8月31日までの期間はヤシガニを採取してはならない。甲の大きさが8センチメートル以下又は、甲の重さが600グラム以下は採取してはならない。抱卵雌ヤシガニは採取してはならない。また、規程に違反した者は、5万円以下の過料に処する。とした！

てるけん